



やまだ

議会だより

No. 187

2025.5.1発行
岩手県山田町議会



シリーズ 家族の笑顔

大沢地区在住の関さん家族。
町への提言、思いを伺いました。
(関連記事P22)

3月
定例会

「山田町きれいなまちづくり条例」の
施行開始－2 P

予算特別委員会

7年度一般会計予算－5 P

町政を問う（一般質問11人登壇）－8 P

4月1日
から

「山田町きれいな まちづくり条例」 の施行開始

目的

町、町民等、自治組織及び事業者の協働による清潔できれいなまちづくりを推進し、もって快適な生活環境を確保することを目的とする。

第4条 町民等の責務

- ・たばこの吸い殻等及び空き缶等の持ち帰り、または回収容器等に収納すること
- ・町が実施する清潔できれいなまちづくりに関する施策に協力すること



第5条 自治組織の責務

- ・地域における住民の清潔できれいなまちづくりの推進に関する意識の向上及び環境の美化に努めること
- ・町が実施する清潔できれいなまちづくりに関する施策に協力すること

第6条 事業者の責務

- ・清潔できれいなまちづくりに十分な配慮及び措置を講じるとともに、従業員に対し意識の啓発に努めること
- ・町が実施する清潔できれいなまちづくりに関する施策に協力すること

きれいなまちづくりに取り組みましょう

3月 定例会の あらまし

令和7年3月定例会は2月7日から3月10日まで32日間にわたって開かれました。初日には、7年度の町長施政方針演説などが行われました。
また、町長提案の議案27件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜3ページ)

7年度の一般会計、特別会計などの予算7件は、予算特別委員会を設置し、3月6日、7日、10日の3日間にわたって集中審議し、全て原案のとおり可決しました。(5〜7ページ)
一般質問では11人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(9〜19ページ)

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、6月下旬ごろから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。

本

年4月1日から施行されている「山田町きれいなまちづくり条例」を制定することに関し議決を求めることについてが提案され、原案のとおり可決しました。

■質疑応答

問 たばこの販売者も回収義務が発生すると思う。灰皿を設置する

とといったことも条例の中でうたった方がよいと思うがいかがか。

町民課長 条例の普及啓発を行っていく中で周知していきたい。

要望 たばこ税が自主財源になることを踏まえれば、販売者はそれなりの対応をしなければいけないと思うので検討をお願いする。

問 町長の措置命令は文書なのか、それとも

口頭なのか。特にたばこの吸い殻は乾燥期においては火災につながるもので、条例で規定することは良いと思う。

町民課長 文書を基本と考えている。たばこの吸い殻については条例の普及啓発をする中でポイ捨て禁止を訴えていきたい。

問 条例が生きるためには町民や自治会組織等が一生懸命町と協働していかなければならないと思うが、具体的にどのような事業を計画しているか。

町民課長 既存事業であるごみゼロ作戦、環境美化パトロールの継続を考えている。ごみゼロ作戦については内容を見直して山田高校生に声をかけるなどして実施していきたい。新たな取組としては、

議案内容と審議結果

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

■豊間根小学校トイレ改修工事を可決

豊間根小学校のトイレの水洗化のほか、洋式化及びバリアフリー化を実施するための工事請負契約を可決しました。

- ・工期 令和7年3月11日～7年3月31日
- ・契約金額 6853万円
- ・受注者 有限会社最上商店（豊間根）



■6年度一般会計補正予算（第7号）を可決

年度末に向けた歳入歳出予算それぞれの収入見込額と執行予定額をもとに、予算調整することを目的とした一般会計補正予算（第7号）を可決しました。

- ・補正額 △7億342万円
- ・補正後金額 116億5881万円

■農業委員会委員 7人の任命に同意

現委員の任期が令和7年3月31日をもって満了となることに伴い、新たに7人の方々を任命することに同意しました。任期は7年4月1日から3年間です。

任命に同意した委員は次のとおりです。

- | | |
|----------|----------|
| ・小林 隆広 氏 | ・佐藤 清悦 氏 |
| ・中村 あづ子氏 | ・福舘 真美子氏 |
| ・佐々木 茂 氏 | ・瀬川 智宏 氏 |
| ・芳賀 惣衛 氏 | |

第9条 公共の場所の管理

- ・公共の場所の管理者は、その管理する場所を清潔に保持し、みだりにポイ捨てされないよう適正に管理するとともに、利用者への啓発等に努めること

第10条 回収容器等の設置

- ・自動販売機により飲食物を販売する者は、空き缶等の散乱を防止するため、当該自動販売機の付近に回収容器等を設置し、適正に管理するよう努めること

第7条 ポイ捨ての禁止

第8条 飼い犬等のふんの放置禁止



違反した場合

措置命令

漁港へのポイ捨て禁止看板の設置、条例の普及啓発を進めていきたい。町民が広く、町をきれいにするという精神を持てるような事業に取り組んでいただき。また、自治会組織等の活動を助成するためにも新たな事業に取り組むべきではないかと思うがいかがか。

町民課長 出前講座の開催や条例の普及啓発を行っていきたい。また、条例を運用していく中で、状況を見ながら新しい事業についても考えていくこととする。

質疑の その後 No. 4

なあ〜どなったあべえ〜？ あの質問&提言

過去に議員が行った質問・提言が、その後どうなったか報告します。

提言：「山田町民歌」は、町民の一体感を育み、郷土愛を醸成するために大きな役割を果たしていると思う。町民にもっと普及させる取組が必要ではないか。
(令和6年第3回定例会)

こうなりゃんした！

- 今年の山田町新年交賀会から出席者全員で「山田町民歌」を斉唱するようになりました。
- 4月から午後5時に防災行政無線でオルゴール調にアレンジした山田町民歌が放送されています。

※町民皆さんで「躍進の町〜ふるさと山田〜♪」を歌いましょう。

担当課・問い合わせ：総務課危機管理室
山田町民歌の歌詞は、右記QRコード→



提言：船越公園の遊具について、遊具が足りなくて奪い合いになっているのを見かける。学年が上の子ばかりが遊具を使用しているときもある。遊具を増やすなど対策してほしいとの声がある。インクルーシブ遊具を整備する考えはないか。(令和3年第4回定例会)

こうなりゃんした！

”インクルーシブ遊具”とは

障がいの有無や年齢などに関係なく誰もが楽しめる遊具のことです。



- 山田の特色である船やクジラのモチーフがついた大型遊具が令和6年12月に整備され、7年1月10日から一般開放しています。

暮らしにつながる予算を議論

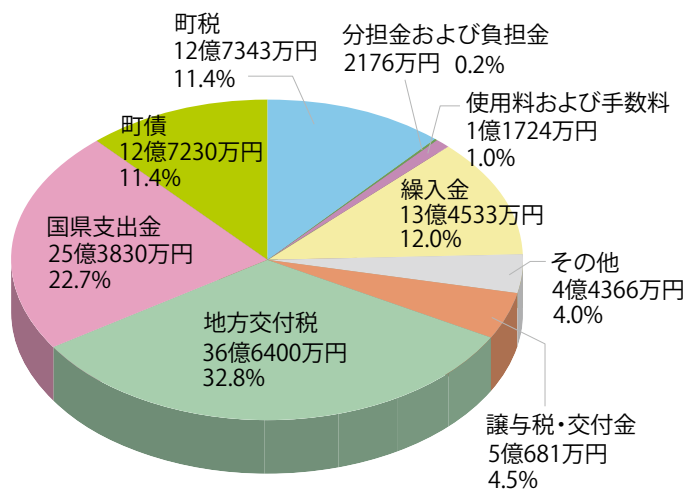
7年度予算について、予算特別委員会（山崎泰昌委員長）を設置して3月6日、7日、10日に審議しました。

一般会計では、歳入歳出それぞれ111億8285万4千円となり、前年度当初予算との比較では、2億1144万4千円、対前年度比1.9%の減となりました。

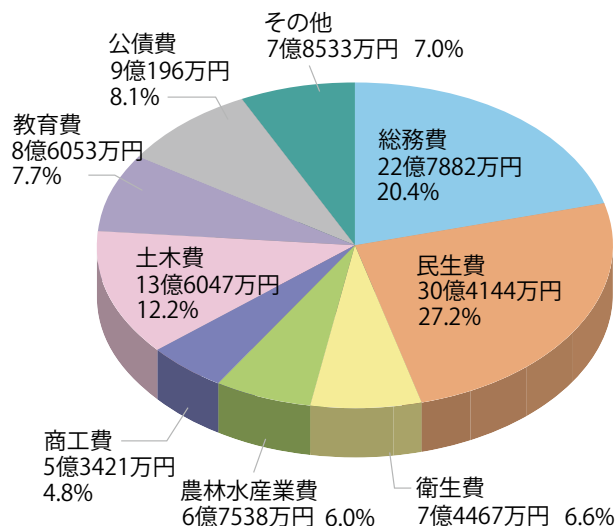
予算特別委員会での集中的な審議の結果、一般会計など全7会計を原案のとおり可決しました。予算特別委員会の審議内容は7ページをご覧ください。

一般会計予算 111億8285万円

《歳入》



《歳出》



※グラフの中の額は、端数処理の関係から構成割合が合わない場合があります。

各会計の予算額と増減率

会 計 名		7 年度予算額	対前年度増減率
一 般 会 計		111億8285万円	△1. 9%
特別会計	国 民 健 康 保 険	19億7522万円	△4. 1%
	後 期 高 齢 者 医 療	2 億5055万円	9. 5%
	介護保険（事業勘定）	18億6172万円	△2. 7%
	介護保険（サービス事業勘定）	385万円	8. 8%
水道事業会計	収益的支出	3 億5646万円	△1. 1%
	資本的支出	4 億 505万円	58. 4%
下水道事業会計	収益的支出	6 億2669万円	△7. 4%
	資本的支出	6 億9518万円	27%

※1万円未満切り捨て ※表中の額は、端数処理の関係から対前年度増減率が合わない場合があります。

福祉タクシー利用助成事業



672万円

ストレッチャー・車椅子移送車の利用に係る費用の一部を助成し、利用者の経済的負担軽減に努めます。

- ・片道を1回とする
- ・1か月の上限は4回
- ・1回当たりの上限額はストレッチャー対応車両で2万円、車椅子対応車両で1万円

寝たきり等で公共交通機関を自力で利用できない方が医療機関を受診する際の運賃に対して助成します。

新年度目玉事業 ピックアップ

新年度に実施予定の多くの事業から、注目の事業を取り上げてお知らせします。次のページでは、予算特別委員会の審議内容を掲載しています。

新設する幼保連携型認定こども園に助成

3億4157万円

7年度に建設が予定されている山田町第一保育所と織笠保育園を統合した幼保連携型認定こども園の園舎、地域子育て支援センター施設、病児保育施設の建設に対して助成します。

幼保連携型認定こども園の建設計画に対する補助を実施し、少子化による未就学児童の減少を見据えた運営の効率化と安心して教育・保育を受けられる環境の整備を促進していきます。



木質バイオマスストーブ設置事業補助金とは

バイオマスストーブを設置する際に補助を行う

問 新たに木質バイオマスストーブ設置事業補助金が計上されているが、内容、見込み件数、周知方法は。

農林課 補助対象機器はペレットストーブ、二次燃焼以上の機能を有する薪ストーブである。補助対象経費はバイオマスストーブ本体の購入費、煙突や付属品の購入費、設置費である。補助対象者は自ら居住する住居に設置しようとする者と、設置する住宅を購入しまたは新築し自ら居住しようとする者である。補助金額は補助対象経費の3分の1以内とし15万円を上限としている。見込件数は5件である。周知方法は広報、ホームページへの掲載、庁舎内へポスターの掲示、農林課公式Xへの投稿により周知する。

林産物展示販売施設（道の駅ふなこし）の改修終了は

本年7月を予定

問 林産物展示販売施設改修工事の完成予定は。また、オープニングセレモニーの開催予定とセレモニーの内容、周知方法は。

農林課 本年7月完成予定である。オープニングセレモニーも同月開催予定である。セレモニーの内容は時期が近づき次第、特産品販売協同組合と協議する予定である。

要望 本町の経済の発展につながるようオープニングセレモニーを大々的に開催していただきたい。



新しい施設のイメージ図

かもめ公園休憩施設整備事業工事の内容は

ベンチ増設を見込んだ施設の整備を予定

問 かもめ公園休憩施設整備事業工事の内容は。

都市計画課 現在ベンチが1基しかない。7年度にベンチの増設を見込んで整備工事を行う予定である。

問 町内の公園について、高齢者の見守り等をしているボランティアの方々から、東屋やベンチ等を設置してほしいとの要望がある。天気の良い日は近所の高齢者の方を外に連れ出して、公園でお話をしたりお茶を飲んだりしている。公園の整備は、子どもの遊具設置だけではなく、休憩用の東屋やベンチの設置も検討してほしいがいかがか。

都市計画課 昨今の暑さの中で、屋根付きの休憩施設は必要があるものと認識している。6年度は大沢公園の整備をしている中で屋根付きの休憩施設が整備できないかということで進めている。8年度以降、町の総合計画等も踏まえながら整備の検討を続けていく。



一般質問

11人登壇

町政を問う

3月定例会での一般質問は、2月28日、3月4日、5日の3日間行われ、11人の議員が一般質問をし、活発な議論が展開されました。

質問議員 (掲載ページ)	質 問 事 項
中屋 佳信 (9 ページ)	○上水道における有機フッ素化合物 (PFAS) の問題について ○合葬型墓地の開設について ○桜山トンネル出入り口付近の凍結防止対策と歩行者安全対策について ○林道沢田線道路改良工事に係る仮設道路 (迂回路) の本設化について ○下水道整備計画区域の見直しについて
昆 清 (10ページ)	○織笠地区の集会施設について ○災害用の物資や機材の備蓄状況について ○介護事業者倒産について ○ウニ陸上養殖について ○高齢者虐待について ○町長施政方針について
佐々木 慶信 (11ページ)	○施政方針について ○山田高校へのさらなる支援について ○教育行政に関する所信について ○自己肯定力を高めるための施策について ○閉校小中学校の財産保管について
山崎 忠弘 (12ページ)	○地域課題解決のためのドローン活用について ○行政区長のなり手不足について ○施政方針について
坂本 正 (13ページ)	○町所有の建物について ○町の入札制度について ○パークゴルフ場について
佐藤 克典 (14ページ)	○町道八千代・白山線について ○閉校後・閉園後の小学校・幼稚園の校庭等の適正管理について ○町長施政方針について
関 清貴 (15ページ)	○水産業の振興について ○健康と福祉の充実について ○住民主体のまちづくりについて ○山田高校への町の支援について ○町立図書館について ○山田小学校図書館について ○教育所信について
菊地 光明 (16ページ)	○町道について ○事業振興について ○漁業について ○施政方針について ○教育所信について
木村 洋子 (17ページ)	○施政方針について ○防災について ○物価高騰対策について ○会計年度任用職員について
横田 龍寿 (18ページ)	○船越家族旅行村パークゴルフ場について ○船越公園に設置したインクルーシブ遊具について ○ドッグランの整備について ○カキ種苗に対する助成について ○スクールバスの運行について ○電気牧柵について ○物価高騰対策に係る子育て世帯への支援について ○街灯の整備について ○専用水道等におけるPFAS検査について ○結婚新生活サポート事業について
豊間根 信 (19ページ)	○結婚支援と子育て支援について ○住環境整備について ○商工業の振興について ○観光振興について ○防災対策について



なか や よし のぶ
中 屋 佳 信 議 員
(令 和 新 風 会)

問 上水道の有機フッ素化合物について

答 水質検査を行い安全性に問題ない

問 全国各地の上水道水から発がん性が指摘される有機フッ素化合物（PFAS）が検出され、問題になっている。町の上水道の検査結果はどうか。

佐藤町長 町管理の上水道水について、昨年7月に水質検査を行ったところ、国が定める暫定目標値を下回っており、安全性に問題はない。

問 町民の健康被害に関わる重要な問題である。安全で良質な水であることを早期にお知らせするべきだ。

佐々木上下水道課長 早急に広報紙への掲載を検討する。

問 町管理以外の水道水についても状況を把握

問 少子高齢化、核家族化の進行に伴い、墓じまいや様々な事情でお墓を建立できない方など問題を抱えている人が多い。合葬型の墓地を開設するべきでは。



宮古市墓園の合葬墓（令和5年度開設）
※合葬墓の状況（令和7年1月末）
相談数737件・納骨数369体・生前予約16件

町長 他自治体の先行事例を調査研究し、整備の方向性を見極めた。

問 後楽墓地には震災時等の身元不明の方々の納骨堂が造成されており、早期対応できる

問 町後楽墓地に合葬型墓地の開設を

答 山田町総合計画の中で検討をする

町長 各水道組合等の水道水についても、現在、町の費用負担で検査を進めている。

用語解説 合葬墓

のではないかと。芳賀副町長「合葬墓について一定のニーズがあることは理解している。これから策定を進める総合計画の中で検討する。」

1つの大きなお墓に多くの方の焼骨を合同で埋葬・埋葬するお墓です。個人での墓碑の建立や管理及び承継の心配がありません。近年、各自治体の開設が見られます。合同埋葬する「合祀型」と個別骨壺を合同埋葬する「集合安置型」があります。

- ・公設墓地で無宗教のため永代供養等の宗教行事は行いません。（各自対応）
- ・生前予約も可能です。（必要条件あり）

問 桜山トンネル北側口の安全対策を

答 凍結防止と歩行者保護に努める

問 トンネル北側口は車のスリップ事故が多発している。凍結防止の対策が必要ではないか。

町長 注意喚起の看板設置と降雪時の優先除排雪、早期の融雪剤散布などに努める。

問 国道と同様な凍結防止剤自動散布装置を設置できないか。

町長 整備の必要性や優先度を見極めながら検討する。

川口建設課長 費用面の問題もあり現時点で設置は考えていない。

問 歩道縁石を乗り越えた車もある。通学路でありガードレール設置等の安全対策が必要だ。

問 織笠地区集会施設の修繕計画について

答 適切な維持管理に努める



議員 清 きよし
（ 新 生 会 ）
こん 昆

問 地域住民より、猿神農業担い手センターの施設修繕の要望がある。今後の予定があるか伺う。また、織笠地区の他の集会施設も老朽化が進んでいる。修繕の計画があるのか伺う。

佐藤町長 猿神農業担い手センターの修繕予定について、6年度は老朽化している施設看板の塗り直しと床の修繕を進めているところであり、7年度は屋根の修繕を予定している。また、織笠地区集会施設の修繕計画については、現時点ではないが、定期的に施設点検等を行っており、今後も適切な維持管理に努めていく。



修繕が待たれる猿神農業担い手センター

問 水産課の設置について

答 水産庁に職員派遣を要請

問 新たに水産課を設置することであるが、具体的な説明を伺う。

町長 本町の水産業を取り巻く環境が厳しいことを踏まえ、水産の

専門的知見から技術指導を行う職員の派遣を、水産庁に対し要請しているところである。

問 ウニ陸上養殖について

答 漁協への支援を継続する

問 最近ウニの水揚げが低迷しているのは磯焼けが原因の1つである。各地区での対策を見ると宮古漁協では、間引きしたウニの陸上養殖を行っているほか、宮古市は6年度からウニの陸上養殖を始める事業者に対して、水槽1トン当たり上限10万円の補助金を出す対策も始めるなど、てこ入れを図っているとのことであるが、本町としてもウニ陸上養殖

に対して何か支援を考えているのか伺う。
町長 船越湾漁協では、5年度より磯焼け対策のウニ移植試験と合わせ、陸上養殖試験用の器材の準備を進め、本年2月にウニの養殖試験に着手したところである。町では、この取組に対して「浜の活力支援事業」による補助を行っており、今後も漁協の取組への支援を継続していく。



さきよしのぶ
佐々木 慶信 議員
(令 和 新 風 会)

問 豊間根小学校トイレ改修の進捗状況は

答 10月中の完成を目指す

問 豊間根小学校が創立150周年を迎えるめでたい年である。以前豊間根小学校トイレを改修するという回答だったが、進捗状況は。

佐々木学校教育課長 昨年11月末に設計完了。今期議会で審議していた。工期については排水設備の設置からトイレ本体の改修まで行うことと、子どもたちに配慮した時間帯での工事となることから、約7か月を予定、本年10月中の完成を目指す。

問 学校生活で何より大切なことは安心安全である。山田中学校の校地内道路に単管パイプが設置されている。状態が続いている。以前整備するとの回答だったが、進捗状況は。

答 本年3月13日の卒業式までに整備完了

イプが設置されている状態が続いている。以前整備するとの回答だったが、進捗状況は。

問 山田中学校校地内の整備進捗状況は



新しいトイレの完成が待たれる豊間根小学校

問 新教育支援施設の具体的な態勢は

学校教育課長 側溝への転落防止と電気引込み柱への接触防止のため単管パイプを設置しているものである。単管パイプの撤去については、側溝部分は3月5日の蓋掛け工事完了をめどに行い、電柱周辺については対策を講じた上で、3月13日の卒業式までに撤去する予定である。

答 今後試行を重ねながら検討

問 旧船越小学校に設置予定の教育支援施設の開設時期は。また、施設の名称は。

松葉教育長 1日も早い支援につなげるため、7年度より試行運用を開始し、正式な開設時期や名称については今後の運用状況を踏まえて決定したい。

問 新施設での受け入れ態勢は。対象、開催日時、支援内容、通所方法等具体的な態勢は。また、常勤職員数そのほか関係スタッフの人数は。

教育長 常駐職員2名程度を予定している。通所については保護者の責任のもとで行い、自家用車や公共交通機関の利用を想定している。今後、試行を重ねる中で実態に即したものとなるよう検討を進める。

問 新庁舎建設に関する懇話会の議論は

答 建替えと改修の両面から



やまざきただひろ 議員
(令 和 新 風 会)

問 施政方針では、災害対策及び行政サービスの拠点となる役場庁舎の在り方については、6年度に設置した「新庁舎建設に関する有識者等懇話会」からの提言を踏まえ、今後の方針を決定していきたい。とのことであるが、これまで開催された懇話会で議論されてきた内容は、どのようなものか。

佐藤町長 懇話会では有識者や町内各種団体の代表者で構成する委員6名により、現庁舎の課題を整理しながら、庁舎の建替えと改修の両面から、求められる庁舎の在り方や課題解消に向けた今後の

庁舎整備の方向性について、相互の意見を基に議論や協議を重ねられている。今後においては、本年3月末に懇話会としての意見をまとめた上で提言書を提出いただき、町ではその提言を踏まえ、庁舎整備の方針について決定する。



懇話会で整備の議論がなされている役場庁舎

問 行政区長のなり手不足への対応は

答 負担軽減と地域の実情を踏まえて

問 町では、行政事務の円滑な処理を図るために、町の区域を分けて行政区を置いている。区には区の推薦に基づき町長が委嘱して区長を置いている。区長は、町民への各種伝達や、文書、広報及びその他の印刷物の配布、町民から町への連絡等の重要な役割を担っている。高齢化等の影響で、行政区長のなり手がなかなか見つからないとの声を聞く。そこで、行政区長制度の現状と課題をどのように捉えているのか、またその課題の解決策について伺う。

町長 行政区長には、町広報紙等の印刷物の配布のほか、町への連絡用務などをお願いしており、地域と行政をつなぐパイプ役として重要な役割を担っていただいている。高齢化やなり手不足などの課題はあるが、引き続き行政区の再編や配布物の削減など負担軽減を図るとともに、各地域の実情を踏まえた改善策を検討していく。

町長 行政区長には、町広報紙等の印刷物の配布のほか、町への連絡用務などをお願いし



さかもと ただし 議員
坂本 正 (新 生 会)

問 公共施設の解体方針は

答 町の管理計画に基づき解体進める

問 町所有の建物の中で解体しようとする物を地区ごとに詳しく示せ。また、全部でいくらの解体費用が必要か
佐藤町長 豊間根地区で7施設、大沢地区で1施設、山田地区で4施設、織笠地区で4施設、船越地区で1施設となっており、「山田町公共施設等総合管理計画個別施設計画」において対応方針を定めているところである。
問 対応が遅いと予算が増大すると思うが。
田畑政策企画課長 令和7年度予算で2施設の解体費を計上している。

問 旧山田病院については、災害の時はいろいろ

いなの方が入り非常に助かったが、今となつては多額の費用がかかると思う。解体のシミュレーションを示してほしい。
鳥居財政課長 早い段階で解体できるよう検討していく。



取り壊しが検討されている旧県立山田病院

問 町の入札制度の変更は

答 改善について検討

問 町の発注工事の一般競争入札制度を見直す考えはないか。町の建設会社が、仕事がないと言っている。町の考えを詳しく述べよ。
町長 町の建設工事の一般競争入札制度は、予定価格が1億5千万円未満の土木工事、建築一式工事、舗装工事などについて、山田町営建設工事発注基準に基づき入札参加資格を設定しており、基本的には町内に主たる営業所を有する「町内業者」

及び町内に契約締結権を委任する営業所を有する「準町内業者」を対象とした入札公告を行っているところである。町の公共工事の発注件数では、令和2年度の133件から年々減少傾向であり、6年度は7年1月末時点において53件となっている。公共工事の減少の実態や町内業者の受注機会の確保などを十分に考慮し、入札制度の改善について検討していく。

問 町道八千代・白山線の工事着手は

答 受注者が決定後、工事着手



議員 典 克 藤 佐
(政 和 会)

問 町道八千代・白山線の道路改良については、令和6年第1回定例会において、工事着手、完成時期について伺った。町長答弁は現在、測量設計を進めており、6年度内での完成を目指すとのことであったが、未だに工事がなされていない。その理由と今後の工事着手から完成までの日程について伺う。

佐藤町長 町道八千代・白山線の改良整備にあたり、5年度から測量及び設計業務に着手してきたところであるが、関係地権者との調整による道路線形の決定に時間を要したことから、工事の着手が遅れている状況である。現在は用地取得済

一般質問

み区間の入札公告を行っており、受注者が決定次第、速やかに工

事に着手し7年度内の完成を目指す。



着工が待たれる町道八千代・白山線

問

閉校後の小学校の校庭等の管理は

答

適正な管理に努める

問

令和2年3月に町内7つの小学校、中学校1校が統合により閉校となった。また、4

年3月にはわかば幼稚園が園児数の激減から閉園となった。閉校、閉園になった小学校、幼稚園の校庭や園庭を見れば、雑草が繁茂し、景観、衛生上好ましくない状況となつてい

P T A活動や各地区の教育振興運動、地域の皆様などの協力により行われてきたところである。閉校・閉園後の施設等の環境整備にあたっては、敷地内の雑草等が繁茂することから、施設の周辺環境に配慮し、状況確認を行いながら、必要に応じて業者委託により適正な施設管理に努める。

問

狩猟従事者の軽減策は

答

大型排水管利用による残渣処理設備の設置

問 農作物等鳥獣被害対策については二ホンジカ・イノシシ等の捕獲頭数の増加に伴い、個体の処分に係る狩猟従事者の負担軽減策としてどのような施策が考えられるのか伺う。

した残渣処理設備の設置を計画しており、搬入距離の短縮による燃料費の圧縮ほか、都合に合わせて自由な時間に搬入可能となることでの時間的な制約の解消など負担軽減につな

町長 新たな取組として、大型排水管を利用



せき 関 (政和会)
きよ 清 議長
たか 貴

問 水産業の振興の方向性は

答 漁協や漁業者と一体となって進めていく

問 本町の採貝藻漁業の令和7年度以降の施策を考えているか。

佐藤町長 近年、高水温や磯焼けによって生育環境は厳しい状況にあると認識している。漁協ではウニ口開け時の数量制限を撤廃するなど取り組んでいるところである。ウニ、アワビ等の磯根資源は重要な資源であることから県の関係機関等と連携し、指導及び情報提供をしてもらい漁協、漁業者と一体となって進めたい。

問 秋サケ漁の不漁でふ化場の経営は厳しいと予想されるが今後の管理運営や方向性を漁協と連携し、検討する考えがあるか。

町長 三陸やまだ漁協

では、2か所のふ化場を「オランダ島サーモン」種苗生産施設として活用することを検討しており、国・県と協議を進めている。

問 本町の漁業の衰退の一因に後継者不足もあるのかと考えるが漁

協や漁業関係者等と連携し、対応策を考えているか。

町長 今後とも後継者事業等の周知に努め、関係団体等と連携し、後継者不足の解消に向けた取組を進める。



新しい利用方法が検討されている
織笠サケふ化場

問 山田病院の診療科増設要望は

答 町民の声を聞く機会設け要望する

問 県立山田病院の診療科の町民の要望の把握方法は。また、診療

科の増設要望予定は。

町長 要望は、山田町地域医療を守る会の活

動や山田病院と住民の懇談会、子育て支援事業などの場面で聞く機会を設けている。要望

は病院に伝えるとともに、県要望に反映させたい。



診療科の増設には住民の声を

問 就学前施設から高校までの接続は

答 発達段階に応じた適切な指導の引継ぎ

問 就学前施設から高等学校までの縦のつながりである接続についての具体的計画を伺う。

教育長 就学前施設や小学校、中学校が発達

段階に応じた指導を適切に行い、次の段階に引き継ぐことで縦のつながりを持った系統的な指導を行うものである。

問 猫石坂ルート 決定は

答 早い時期に通告



きく ち こう めい
菊 地 光 明 議 員
(新 生 会)

問 地元から猫石坂に係る陳情を令和4年度に受けてから2年以上が経過している。前回の定例会でも聞いたが、ルート決定や用地交渉はいつから実施するのか、また地元説明会はいつするのか詳しく述べよ。

佐藤町長 狹隘箇所は、必要となる事業用地の確認とともに、整備手法や工程などの検討を行っているところである。用地交渉や説明会の時期については現時点でお示しすることはできないが、今後、関係地権者のご理解を図りながら引き続き整備実施に向けた準備を進めていきたいと考えている。

問 「新田・繫線の道路側溝の整備を進める」とあるが、いつから実施するのか、そして地元説明会はいつ開催するのか、今後の予定について詳しく述べよ。

町長 令和7年度上半期に工事に着手し、年

答 7年度完成を目指している

問 新田・繫線の側溝整備は



ルート設定が待たれる猫石坂周辺道路

度内の完成を目指していく。説明会については開催する予定はないが、事業実施の際には地域住民に対し工事のお知らせを行うなど、円滑な工事の推進に努めていきたいと考えている。

答 慎重に判断していく

問 古い町道名の変更は



側溝整備が待たれる繫地区

問 用地関係はどうするのか。

川口建設課長 用地については、町有地内で施工することから、用地交渉の予定はない。

問 古い町道名について、新しくする計画はないか。現状に合った名前に変更を考慮すべきと思うが、当局の考えを伺う。

町長 現在の状況に合っていない路線があることは認識している。今後、路線名の変更による影響を考慮した上で、対応については慎重に判断していきたいと考えている。



きむら ようこ 議員
(日本共産党)

問 移送車利用への負担軽減策は

答 「福祉タクシー利用助成事業」を実施

問 高齢者福祉については、地域包括ケアシステムのさらなる推進に努め、新たに「福祉タクシー利用助成事業」を実施し、移送車の利用に係る費用の一部を助成するとある。このことは利用者の経済的負担軽減となり、以前から要望していたところだが、詳しい内容は。

佐藤町長 寝たきりまたは車椅子を使用する町内の高齢者や障害者等が、タクシー会社が所有するストレッチャーや車椅子対応車両を利用して医療機関を受診した場合、運賃の一部を助成する。利用回数は、片道を1回として1か月4回まで、1回当たりの上限額は、ストレッチャー



利便性の向上が期待される地域のデマンドタクシー

答

地域の実情やニーズを捉え進める

問

デマンドタクシーの利便性の向上は

対応車両が2万円、車椅子対応車両が1万円

とし、運賃の2分の1を助成する。

答

関係機関と緊密な関係を構築中

問 東日本大震災時、本町では、大浦地区などでがれきや海水の流入などにより、道路が寸断され孤立した。そのため、大浦地区では負傷者を緊急に運べなかったという事態が発生した。巨大地震の危険性が引き上げられたり、豪雨災害も頻発している現在、地域の孤立化を防ぐ手だて、または孤立した場合の迅速な対応は十分に考えられているか。

町長 大災害では、地域を問わず孤立化の可能性が考えられる。災害時の対応については、緊急車両が通る救援ルートを早期に確保し、救助や物資供給等はヘリコプターを活用するなど関係機関と緊密な関係を構築している。

問

大災害時の孤立化への対応は

問 豊間根地区の一部地域で実証運行を行ってきたデマンドタクシーを本格運行に切り替え、さらなる利便性の向上を図るとある。今後どのように運行していくのか。また、この事業を必要と思われる他の地域に規模を拡大する考えはないか。

町長 豊間根地区の本格運行に伴い、自宅を

乗降場所として設定するほか、満70歳以上を対象とした運賃割引や帰りの便を増やすなど、令和7年度から実施する予定である。また、他の地域への拡大の予定はないが、今後も地域の実情や住民ニーズを捉え、持続可能な公共交通を目指す。

問 船越公園遊具のさらなる拡充を

答 全世代が利用する公園を目指す



よこ 横 田 たつ ひさ 龍 壽 議員
(政 和 会)

問 令和3年第4回定例会で提案した時は「難しい」との答弁だったが3年で実現した。土日祝祭日に家族連れで大変賑わっている。想定より混雑し遊具が足りないとの声もあるが増設する考えはないか。

佐藤町長 このたび設置したインクルーシブ遊具は幼児や児童とその家族から好評だが、幅広い世代の利用を想定した公園整備が必要のため、現時点で同様の遊具を増設する考えはない。

問 幅広い世代の利用を想定した整備とあるが、具体的には。

佐々木都市計画課長 子どもから高齢者まで全ての人が利用できる

一般質問

町民の健康増進の場とする。休憩や鑑賞、散歩、運動といった多様な機能について、船越家族旅行村と一体的に充実を図り、次期総合計画では産直広場ふれあいパーク山田を起点とした船越エリア周辺

の1つのコンテンツとして魅力向上を目指す。

問 ゴムチップ舗装をしては。

町長 施工方法や費用の観点から困難だが芝生による保護等の対応を検討する。



新しく整備された遊具

問 パークゴルフ場の開放時期は

答 GW前の一 般開放を目指す

問 パークゴルフ場はいつから利用できるのか。

町長 令和7年度に

パークゴルフ場の1コース9ホールの整備と管理棟周辺施設の設計業務に着手予定だ。整備済みの3コース27ホールは芝生の活着状況を確認しながら、状態の良いコースの先行開放を検討している。

問 具体的な目安は。

加藤水産商工課長 今後は1コース9ホールの整備、管理棟などの整備を進めていきながらこれまで整備してきた3コース27ホールの状況を見ながら早めに

開放したいと考えている。GW前に一般開放という形で自由に活用していただきたいと考えている。

問 管理は町が直接行うのか。利用申請方法、利用料金はどのようになるのか。

町長 完成後の管理方法、利用申請方法、利用料金は関係者の意見や他市町村の事例を参考にしながら決定したい。



間もなく一般開放されるパークゴルフ場



とよ ま ね まこと
豊 間 根 信 議員
(政 和 会)

問 地域防災対策の方向性は

答 防災士会・防災組織等との連携を図る

問 地域防災の担い手となる防災士の育成を進めるとともに、自主防災組織等と連携した防災体制の構築に取り組むとのことであるが、今後どのようなビジョンをもって育成に取り組んでいくのか問う。

佐藤町長 防災士については防災リーダーとして地域の防災力向上が期待される。このことから町や自主防災組織、防災士間の連携を図り、防災士が活動しやすい環境を整えることが重要であると認識している。防災士のレベル向上を目指すため、継続的な学びによるスキルアップを図る取組については、新たに立ち上げる防災士組

織において意見を頂きながら模索していく。



山田町防災士連絡協議会が発足しました（第1回会議）

問 住環境整備について

答 これまでの対象の範囲を拡大

問 下水道の接続率向上と町民の負担軽減を図るため、接続補助を

継続するほか、整備計画区域外において、浄化槽の設置補助を拡充

とのことで大変喜ばしいことである。浄化槽設置補助事業の概要について問う。

町長 令和7年度から町単独の嵩上げ補助の引き上げや、対象工事の範囲を拡大する。これにより合併処理浄化槽の新設に対する補助額は、5人槽が従来の

44万円から58万5千円に引き上げられ、7人、10人槽などの補助額も引き上げられる。また、汲み取り便槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する場合は、宅内配管工事費として最大30万円を補助し、便槽撤去費なども補助していく。

問 結婚支援と子育て支援策について

答 それぞれに助成を実施

問 結婚支援はこれまでどおりの施策を継続するとのことだが、今日までの現状、今後の積極的な取組について伺う。それから子育て支援についても引き続きこれまでどおりの取組を進め、さらに手厚く不妊治療や妊婦健康診査に係る費用の助成を拡充することなどがその内容について伺う。

町長 結婚支援については結婚新生活サポート事業を実施しており、昨年10月から新たに「i・サポ」入会登録手数料の全額助成を実施している。子育て支援の拡充については不妊治療にかかる通院費や出産予定日超過後の妊婦健康診査費用の助成を実施し、安心して生み育てることができる環境づくりに努める。

産業建設民生常任委員会視察研修

産業建設民生常任委員会は1月22日、23日に宮城県蔵王町と村田町において、有害鳥獣被害対策について調査するため、視察研修を行いました。

宮城県蔵王町

蔵王町では東日本大震災以降、イノシシの生息域が急速に拡大し、農作物被害が重大なものになるとともに捕獲頭数も激増しました。処分は、解体処理後に焼却か現地埋設により対応していました。しかし、鳥獣被害対策実施隊員の高齢化により、現地埋設による処分は限界に達するものと見込まれたことから、解体処理施設の建設を検討し、平成27年3月に完成、同年4月から運用が開始されました。

解体処理施設が建設された地域では、マタギ文化が根付いており、鳥獣被害対策実施隊が解体技術を有していることが施設の建設による捕獲者の負担軽減が成功した大きな要因であると考えられます。

解体処理施設の利用方法は、捕獲した有害鳥獣を捕獲場所にて止め刺し、放血した後、解体処理施設へ搬入。解体処理をした後、急速冷蔵庫に一時保管し、地域のごみ収集日に合わせて週2回収、一般廃棄物として処理されます。

解体処理施設を導入したことにより、捕獲者の負担軽減だけでなく、解体時間が短縮したことで、畝設置等の時間が増え、捕獲量が増加したということです。



←有害鳥獣
解体処理施設
外観

有害鳥獣
解体処理施設
内部→



宮城県村田町

蔵王町と同様に、村田町でも東日本大震災以降、イノシシの生息域が急速に拡大しました。以前は捕獲個体を現地埋設していましたが、埋設のための掘削作業が捕獲者の大きな負担になってきたことや、町農作物有害鳥獣対策協議会に捕獲個体を解体する技術を持つ捕獲者が少ないことから、できるだけ解体作業を行う必要がなく、処理時間がかからない処理方法の検討が行われました。その結果、分解処理できる施設の設置が望ましいとの結論に至り、平成30年度に減容化処理施設が導入されました。全国で2例目ということです。

処理の流れは、有害鳥獣を捕獲し軽トラック等に積み、そのまま解体処理施設へ搬入し、捕獲個体を機械の投入口から投入。機械内部に水分を含ませたおがくずを投入しており、おがくずに付着している常在菌により、小さい個体だと3日程

度、大きい個体だと1週間程度で減容化され、骨のみになります。

以前行っていた現地埋設処理に比べて実施隊員の負担が軽減され、捕獲意欲の向上及び捕獲頭数の増加につながっただけでなく、実施隊としての活動継続を前向きに考える意見が増えたということです。



減容化処理施設内部

総務教育常任委員会視察研修

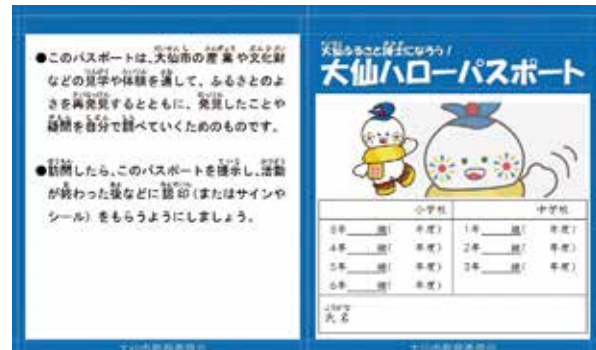
総務教育常任委員会は1月21日、22日に秋田県大仙市と宮城県大河原町において、小中学生の学力向上の取組と不登校児童生徒の支援について調査するため、視察研修を行いました。

秋田県大仙市

～小中学生の学力向上の取組～

大仙市では「大仙教育メソッド」が大きな柱となり、素晴らしいキャリア教育を実践しています。その取組の1つに「大仙ふるさと博士育成」事業があります。農業体験や企業体験等を行うことで、参加・体験・貢献ポイントを獲得できるという事業です。「大仙ハローパスポート」を持参し体験行事等に参加します。ポイントがたまると教育長、市長から表彰を受けます。この事業では、地域行事への参加や企業、施設等での見学や体験を通じてふるさとを愛する心を育て、地域の将来を担う人材の育成を目指しています。

また、令和5年度全国学力・学習状況調査結果では、大仙市の児童生徒の自己肯定感が全国、秋田県の平均を上回っていることが示されています。「大仙教育メソッド」による様々な取組の積み重ねが児童生徒の自己肯定感を高め、学力向上につながっていると考えます。



大仙ハローパスポート①



大仙ハローパスポート②

宮城県大河原町

～不登校児童生徒の支援～

児童生徒の不登校者数は全国で30万人を超えており、現在の学校教育の大きな課題のひとつです。文部科学省は不登校児童生徒に対する施策の1つに「教育支援センターの整備」を掲げています。その教育支援センターである「おおがわら子どもの心のケアハウス（以下ケアハウス）」は、学校に通学することが難しい児童生徒はもとより、学習することに不安を感じて将来不登校に陥る心配のある児童生徒も、自宅以外で安心して学習を進めることができる「居場所」として学習活動と体験活動を主な活動に掲げて活動しています。ケアハウスに通所すると登校扱いになり、学校との連携も図られています。また、駅前という立地も通所の利便性の向上につながっています。

特徴的な取組として紹介されたのが、公用車やデマンドタクシーでの送迎です。決められた時間に公用車を使用し児童生徒をケアハウスまで送迎しています。公用車がいっぱいですら

も乗車できない場合はデマンドタクシーも利用しています。このような取組ができるのは、大河原町が宮城県内の中でも面積が極めて小さく、居住域が半径5 km以内にほぼおさまっているためです。

また、長期休業中の課題への取組も行っています。不登校の児童生徒だけではなく、多くの児童生徒が通所して自主学習しています。ここでは学力向上ではなく、宿題を終わらせることで達成感を得ることを大切にしています。



職員から説明を受ける議員

